

KIDS SMILE LABO JOURNAL

“キッズスマイルラボ ジャーナル”

KIDS SMILE LABO が発行するフリーペーパー。普段 SNS でしか見られない保育園の子どもたちの様子や、子育てに関する情報等、最新情報をお届けします。

Vol.11
2022
TAKE FREE



KIDS SMILE LABO の 1 枚。

副園長の森誉さんが選んだ、とっておきの 1 枚を紹介します！

“それはまるでつなひきのようで”

思うように進める時もあれば
一度戻ってみる時もある
じーっと我慢の時もあれば
あっという間にできてしまうこともある
自分一人の力でできることもあれば
仲間の力があってできることもある

その時その時
どうしたいか、どうしたらいいか
自分の気持ちに聞いてみたり
仲間の気持ちと向かい合ってみたり

心動かすたくさんのできごと
きっとそのどれもが一つの大事な実りとなって
みんなが彩る日常の中で芽を出していくことでしょう

photo & text by morimori

今月のおすすめ note !

かおちゃんのつれづれラボ日記

「いい表情がみれる瞬間」

新年度がスタート！ KIDS SMILE LABO にもあたらしい仲間が増えましたよ！

もりもりのわくわくラボ日記

「ウェルカムイヤイヤ期」

イヤイヤ期をコミカルな言い回しで書かれているおすすめの記事です！

園長 松下かおる



副園長 森誉



続きは note にて →

kidssmilelabo.com



@kidssmilelabo

KIDS SMILE LABO

@kidssmilelabo

@KIDS_SMILE_LABO

● DAICHI ● OOZORA ● MINAMO



ひとつ大きくなって

ひとつ進級し、年長だった子は小学校へ旅立ち、乳児クラスには新しいお友達が入り、大きな部屋には2歳児クラスのお友達が一緒に生活するようになりました。

「Tーちゃんたちはがっこう。。？」
年長だった子のことをふと思い浮かべたり。
「かわいいね。この子のお名前は？」
赤ちゃんに興味を湧いたり。
「こわさないでよ～」
作ったものを年下の子に壊されないよう守ったり。
「やってあげようか」
お昼寝明けの着替えを手伝ってあげようとしてたり。

一つ大きくなったことの喜びを感じるとともに。色々な心の動きと、関わりを経験している子どもたちです。

今年年長さんになった女の子は、自分が1番年上であることが嫌だと話すこともありました。散歩の際も、年下の子と手を繋ぐことに不安がある場面もありました。

しかし、彼女の中で何か変化があったのでしょうか。
「小さい子と手をつなぐってしあわせ」
散歩の最中に、突然柔らかな明るい声でそう言った彼女。

それ以降、積極的に年下の子にアドバイスをしたり手を差し伸べる場面が増えていきました。

色々な年の子がいて。
思い通りにいかないこともあれば、楽しいこともある。
子どもの数だけ関わりが生まれることでしょう。

ここから始まる1年間。どんな関係が織りなされていくのか見守っていききたいと思います。

文ちなちゃん

KIDS SMILE LABO CLASS NEWS | 4 April

● NOBANA



春のであい

新年度になり、1名の新しい友だちも入園し2歳児7名でののばなクラスがスタートしました。
今までの小さい部屋から大きな部屋へと引っ越しとなり、段差を上げてみたり、下りたりと広い保育室あちらこちらへ動きまわり、元気に過ごしています。

毎日の活動では、ぽかぽかと暖かい日々が続き、たくさんの野花在咲き始め、生き物との出会いに「春」の季節を感じています。てんとう虫、蛙、ダンゴムシ、カタツムリ、蝶々など、散歩先で様々な生き物との出会いがありました。

初めはじっとみつめる姿がありました。ダンゴムシがどのように動くのかと地面に目線を持ってきて、小さく小さくかがみ観察している様子でした。そして、保育者が指の先でそっと「ツツツ」と触り、丸くなる姿をみて、Kくんも「ツツツ」と言いながら、優しく触れ、ダンゴムシが丸くなる様子を楽しんでいました。また、次の日同じ場所でダンゴムシ探し。砂場道具のお皿を持っていき、何匹ものせてみる。そして、また別の日。自分の手に乗せ、「わあ～あがってくる！あがってくる！」とじっと動きを見ながら、ダンゴムシとの触れ合いを楽しむ様子がありました。

日が経つにつれて、Kくんとダンゴムシの関わりは、捕まえる数が増えたり、ダンゴムシのいる場所が分かったり、木から自分手に乗せてみたりと深くなったと感じられました。また、Kくんがダンゴムシとの触れ合いをみて、私も触ってみようと思ふと子どもの連鎖する姿もありました。

生き物の名前を覚え、歌をうたったり、手遊びも一緒に楽しみ、「今日もいるかな」「明日も探そう」など、子どもたちの興味も広がっています。
私たち大人より地面に暮らす生き物と目線に近い子どもたち。春の虫、夏の虫とこれからたくさんの生き物とであいを楽しみに過ごしていきたいと思ひます。

文さっどん

KSLJ

KOMOREBI

毎日たくさんの「はじめまして」に出会ったよ！

「はじめまして！」からスタートしたこもれびクラス。初めてお家の方と離れての生活に不安を感じて泣いていた子どもたちも、たくさんの「はじめまして」に出会い、日々成長していく姿をみせてくれます。

ある日のこと。ベビーカーに乗り込むと「たーっ！」とご機嫌な声があがり、近くの河川敷へ出発！

到着すると、前日の雨の影響で大きな水たまりができていました。そこへ飛び込む、そよかせさんたち。思いっきり泥だらけになって遊んでいるお兄さんお姉さんを見て、子どもたちも試してみたい！という気持ちが出てきたようです。

恐る恐る足を泥につけてみるも、慣れない感触に泣いてしまったり。慎重に、手で触って試してみたり。泥の中へずんずん進むも、足をとられて転んでびっくりしたり。

たった数分の出来事でしたが、子どもたちにとって大きな一歩となったことでしょう。このような経験を繰り返して彩り豊かな日々にしていきます。

文しおちゃん



SOYOKAZE



水溜まりで転んで立ち上がれなくなってしまったYくん。それに気が付いたLくんが側までいって手を差し伸べていました。とても心温まる場面でしたよ。

あたらしばしよ

暖かい日に河原に下りて遊びました。今まで数回しか行ったことがなかった河原。軽やかな気持ちで下りて行った先はゴロゴロ石の地面。歩こうとしても足を取られてしまい、泣いてしまう子もいました。

それでもゆっくりゆっくり...足元を見ながら慎重に歩く姿や四つん這いなら進めることに気が付いてハイハイをして進んだり諦めず歩を進める姿は「もう赤ちゃんではないよ」と言っているかのようでした。一歩一歩進むその姿はとても集中していましたよ。1時間ほどのお散歩でしたが、きつとも疲れたころでしょう...！そして水がたまっているところを見つけるとすかさず足を入れピチャピチャと楽しむ子どもたち。これからこの河原でどんな姿を見せていくのか楽しみです！

文あづあづ



KIDS SMILE LABO KITCHEN

LABO ではお馴染みの光景！？

慣らし保育を終え、0歳児はラボの給食の特徴のひとつである無農薬お野菜を使った『煮野菜』を食べはじめました。初日は初めて見るゴロゴロお野菜や、初めての味に少し戸惑いながらのスタートでしたが3~4日経つと、ラボではお馴染みの光景が見られるようになりました。顔や手足、至る所にお野菜やお米をくっつけ、床には落としたり、投げたりしたお野菜が転がります。自分から手を伸ばして、食べるその姿は初日には想像できませんでしたが、きっと数ヶ月後に大人たちは、皆んな「綺麗に食べられるようになったね」と話していることでしょう。歳の離れたお姉さんやお兄さん、同い年のお友達、歳下のお友達の存在があるからこそ、子どもたちの成長は早く、いつも驚かされています。そして、前年度からの在園児さんたちはラボの給食に慣れ、食欲がアップし、食事の時間も落ち着いて食べているように思います。また、今年度からお野菜を届けてくださる無農薬農家さんが増え、より一層地域の方との関わりに感謝し、この繋がりを大切にしていきたいなと思っています。

文やっちゃん



KIDS SMILE LABO KITCHEN

保育園KIDS SMILE LABOで毎日子どもたちに提供している給食は厚木で育った旬の野菜、無添加調味料を使用して安心安全に、そして見て美しい食べて美味しい給食を2343FOODLABO監修のもと、調理をしています。



Instagramもぜひご覧ください